（別紙５）

公表　放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	わくわくエジソン福島教室

公表日　2025年　5月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		・教室内が学習場所と遊び場所が分かれている ・学習スペースと遊びのスペースを分けている ・勉強と遊ぶスペースが区切られている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%		・数名送迎に出ても教室に残る職員が足りていると思う ・休みが重ならない様にしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83%	17%	・おもちゃの片付け場所やゴミの分別の目印があり、エレベーターの設置もある ・視覚的分かりやすい様にしている	・エレベーターが狭く車椅子の子供を少し入れにくい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		・片付けしやすい様に、区分けしている ・空気清浄器やアルコール消毒している ・清潔さが保たれている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		・個室はないが、仕切りでスペースを作ることができる ・クールダウンする為にスタッフの部屋を使わせる ・マットを利用し空間を分けていた。 ・パーテーションを活用	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		・会議で支援計画の作成についての話し合いが行われている ・職員内で共有されている ・教室会議での共有	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・評価表を元に改善している ・教室会議での共有	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・毎週教室会議が行われている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	83%	17%	・訪問調査を元に改善につなげている ・会議で話しあっている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・毎月勉強会が行われている ・社内勉強会	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・子どものニーズに合わせたプログラム内容が作成されている ・毎日違うプログラムをしている ・教室会議での共有	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・それぞれの子どものニーズや課題に合わせた支援計画が作成されている ・教室会議での共有	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・教室会議で職員間で話し合い作成されている ・教室会議での共有	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%		・作成後は職員内で共有し、それを元に支援が行われている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		・それぞれの子どもに応じたアセスメントが行われている ・チャットを活用	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・教室会議での共有	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		・教室会議で土曜イベントのプログラム内容が話し合われている ・会議内での共有･提案が行われている ・スタッフ全員で意見の出し合い	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・時期に応じたプログラムを取り入れたり担当者の入れ替えで固定化されないよう工夫されている ・色々なスタッフが担当している ・毎日違うプログラムをしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		・教室会議での共有	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		・共有し支援行われている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	100%		・チャット等で共有されている ・気付いた時点での共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・業務日誌の作成 ・教室会議での共有	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・スタッフ間で話あっている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%		・教室会議での共有	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・会議やスタッフ間で	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・管理者、児発管が参加	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%	・整っている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		・送迎時に連携を取っている ・自然とできています	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		・オンラインなどで	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		・共有されていると思う	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	100%		・管理者がしていると思います	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	・地域交流の機会を増やせればいいと思う	・機会がない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%	・機会があれば参加していると思う	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・連絡帳や送迎時に連携をとれている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		・親子イベントを土曜プログラムに取り入れている ・DCD,親子イベントで交流をはかっている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・行われていると思う	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・設けられている	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%		・支援計画作成後は保護者へ共有されている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・面談時間がある	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	・親子イベント	・機会があればいいと思う
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・教室会議での共有	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・インスタを毎週更新している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・鍵付き棚で管理	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・配慮されていると思う	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		・地域交流の場が増えればいいと思う ・その機会がないです ・スペースが足りない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・定期的に行われている ・避難訓練など	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・BCPも策定され、防災プログラムもよく取り入れている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・把握して、チャットや会議等で共有されている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・おやつの持参や、クッキングプログラム等分けられている ・エピペンの使い方は、直ぐに見える場所に掲示 ・個人ファイルでまとめられている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・支援が行われている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%		・連絡帳などで周知されている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・会議で共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・スタッフ会議等で研修の機会を設けれている ・社内勉強会	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・勉強会で教えていただいた	